



万松寺

# はくび通信

第  
2066号  
26



## 変わりゆく「寺活」 ～体験してみるから身心を調えるために～

かつてのお寺のように、訪れる方の心のよりどころでありたいと寺子屋や坐禅会、写経会などのいわゆる「寺活」をはじめてから早いもので10年が経ちました。おかげさまで、今では当時想定した定員をはるかに超える多くの方にご参加いただいており、感謝申し上げます。

思いおこせば寺活を始めた頃は、信仰を大切にするために仏教に触れる場が必要と考えていたように思います。ところが今では、参加された方が自分自身と向き合い、より良く生きるために気づきの場であったり、心を許して穏やかにホッとできる場であります。そのためにしきたりや作法にとらわれすぎることなく、だれもが嬉しいひとときを味わつてもらうことを心がけています。

### きつかけづくり

万松寺の年中行事には、檀家さんや信者さんだけではなく、どなたでも参加しやすいようにと屋外で法要や祈祷を行うものがいくつもあります。また、本堂や諸堂で行うときも、扉を開けてできるだけ外から見えるようにしています。これは、お寺は閉ざされた場所ではなく、気軽に立ち寄れる開かれた場所だということを知っていただけです。

万松寺は商店街の中にあるので山の中のお寺のような凜とした静けさに触れるのは難しいですが、反対にお買い物や散歩の合間になどお立ち寄りいただけます。これといった特別なときだけでなく、何気ない日常の中のふとしたときにも気持ちを軽くすることができます。年のはくび通信でご紹介した、参

列者も僧侶と一緒に経を唱和する朝課やご自身で煎茶を淹れたり、抹茶を点てたりする寺カフェなどとのご縁をつなぎ、深めていきたいと思っています。

なお、今年も年頭に開催した書初め会やこれまで写仏会にご参加された方の作品を展示する「仏教講座展示会」を開催しますので、ご来寺いただきつかけとなれば幸いです。

**■ 身心のよりどころを目指して**

コロナ禍以降の「寺活」は、単に何かを体験をするというだけではなく、自分の身心を調えるために行う人が増えていくように思いました。その方法は、行事や講座への参加でも、仏さまに手を合わせるのも、おみくじをひくでも、自分に合えばなんでもいいのです。

万松寺の住職と氣楽なお茶会

行事のほかにも、住職による法話会の大人の寺子屋をはじめとして、坐禅会・写経会・写仏会・仏教勉強会などの講座を定期的に開催しています。また、ほかにも昨

年のはくび通信でご紹介した、参

列者も僧侶と一緒に経を唱和する朝課やご自身で煎茶を淹れたり、抹茶を点てたりする寺カフェなどとのご縁をつなぎ、深めていきたいと思っています。

なお、今年も年頭に開催した書初め会やこれまで写仏会にご参加された方の作品を展示する「仏教講座展示会」を開催しますので、ご来寺いただきつかけとなれば幸いです。

**■ 万松寺の仏教講座**

講師 万松寺住職 大藤 元裕

開催日 3月8日 4月5日

時間 10時半～12時

参加費 300円  
(お抹茶・お菓子付き)

万松寺の仏教講座

坐 禅 会 每月第1・3土曜日 16時～17時半

写 経 会 每週日曜日 9時～10時

写 仏 会 每月第2土曜日 16時～17時半

仏教勉強会 毎月第4土曜日 16時～17時半

参加費 500円

※行事などにより、日時・会場の変更や中止となる場合があります。

お申し込み・お問合わせ

この「はくび通信」ご持参にて  
1回無料でご参加いただけます

万松寺学び舎 WEBSITE 電話 052-262-0735 検索

写経会(書初め)・写仏会に参加された皆さまの作品を展示します

3月13日金～23日月

「仏教講座 展示会」

大人の寺子屋

（万松寺住職との  
氣楽なお茶会）

行事のほかにも、住職による法話会の大人の寺子屋をはじめとして、坐禅会・写経会・写仏会・仏教勉強会などの講座を定期的に開催しています。また、ほかにも昨

年のはくび通信でご紹介した、参

列者も僧侶と一緒に経を唱和する朝課やご自身で煎茶を淹れたり、抹茶を点てたりする寺カフェなどとのご縁をつなぎ、深めていきた

いと思っています。

なお、今年も年頭に開催した書初め会やこれまで写仏会にご参加された方の作品を展示する「仏教講座展示会」を開催しますので、ご来寺いただきつかけとなれば幸いです。

**■ 万松寺の仏教講座**

講師 万松寺住職 大藤 元裕

開催日 3月8日 4月5日

時間 10時半～12時

参加費 300円  
(お抹茶・お菓子付き)

万松寺の仏教講座

坐 禅 会 每月第1・3土曜日 16時～17時半

写 経 会 每週日曜日 9時～10時

写 仏 会 每月第2土曜日 16時～17時半

仏教勉強会 每月第4土曜日 16時～17時半

参加費 500円

※行事などにより、日時・会場の変更や中止となる場合があります。

お申し込み・お問合わせ

この「はくび通信」ご持参にて  
1回無料でご参加いただけます

万松寺学び舎 WEBSITE 電話 052-262-0735 検索

写経会(書初め)・写仏会に参加された皆さまの作品を展示します

3月13日金～23日月

「仏教講座 展示会」

大人の寺子屋

（万松寺住職との  
氣楽なお茶会）

# 住職の小噺

鏡に秘められた祈り

「鏡に映るのは、鏡の前にあるもの」と思っている方が多いのではないかでしょうか。

実は、一見するとただの鏡にしか見えないのに、光をあてる鏡が浮かびあがるという鏡が存在します。

## 魔鏡の存在

魔鏡の起源については諸説あります。一説によると紀元前1世紀頃から存在していたとも言われています。日本で魔鏡にまつわる有名な話は、禁教令によってキリスト教が禁止された時代、迫害を受けていたキリスト者が密かに礼拝を行うために、崇拝するものを隠した装飾品の一種という話です。



切支丹魔鏡と呼ばれる魔鏡は、光をあてるとキリスト像やマリア像が浮かびあがります。また阿弥陀菩薩が誓願を立てたときの四十八の光を表現した像や南無阿弥陀仏という文字が浮かびあがるなど、仏教にまつわる魔鏡もいくつか現存しています。

合掌

3/8  
(日)  
災害物故者  
追悼法要

震災などの災害で亡くなつた世界中の方を悼み、復興・再生への祈りを込めて、追悼法要を宮みます。

4/5  
(日)  
花まつり

降誕会を祝し、花御堂（はなみどう）の誕生仏に甘茶を灌ぐ花まつりを行います。

行事・祈禱・供養のお問合せ・祈禱受付またはお申込みは

そこにはないものが浮かびあがるとき、人々はその神秘さに魅了されるかもしれません。

万松寺住職

大藤  
元裕

## 万松寺の魔鏡

実は万松寺の諸堂を再建したときから、白雪稻荷の御神体として魔鏡をお祀りしています。その御神体に光をあてる、稻荷紋が浮かびあがりますが、普段は一般公開しておりませんので、稻荷紋を見ることはできません。ただ現在本堂2階の寺カフェ「間の間」の床の間に、龍が浮かびあがる魔鏡を展示しております。そちらはカフェをご利用いただいた方の目を楽しませていただいだ方の目を楽しませていただいだ方の目を楽しめています。

## 信秀忌

万松寺を建立した織田信秀（織田信長の父）の命日供養を宮みます。

他にも、信秀の十一男・長益（有樂斎）を流祖とする武家茶道の宗匠による献茶、信長幸若舞保存会による幸若舞の奉納が行われます。

どなた様もご自由に参列・焼香・鑑賞いただけます。ご参列の方へは粗供養として記念書をお渡しいたします。



## 3/3 (火)

## 初午会

稻荷の日である旧暦初午の日に、白雪稻荷のご真前にて、五穀豊穣・商売繁盛の祈祷を行います。

彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を宮みます。

3/22 (日)  
23 (月)  
春彼岸合同法要



●事代わり餅つき18時  
不動明王縁日護摩  
毎月28日

4/23 (木)  
春姫忌

尾張徳川家初代藩主義直公正室春姫の命日供養を宮みます。



## 4/8 (水)

## 降誕会

お釈迦様が花園でお生まれになつた日に、誕生を祝し報恩感謝の法要を宮みます。

行事・祈禱・供養のお問合せ・祈禱受付またはお申込みは

052-262-0735  
にて承ります。（年中無休）

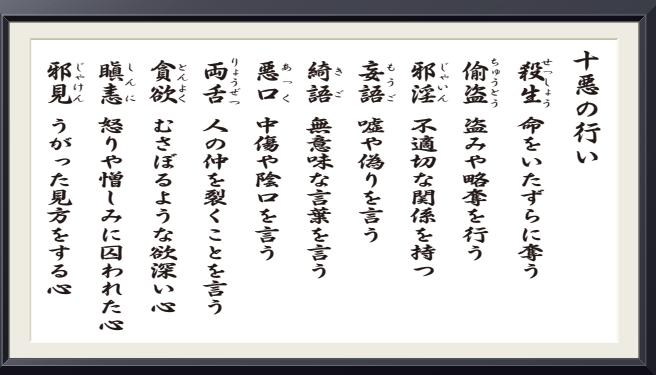
これから行事

# 僧侶が教える

## 仏教の豆知識

### 十悪と十善

私たちたちは日々の中で思いがけず窮地に立たされることがあります。それは知らず知らずのうちに仏教で説かれる「十惡」の行いをしてしまっていることに原因があるかもしれません。



十惡は、殺生や盗みのよう倫理的に許されない悪行から、嘘や陰口のように身近に感じる悪行まで幅広く説かれています。

「十惡」とは、自分やほかの人を苦しめ、窮地に追いやつてしまふ十の悪行と説かれています。

そこまでの大事ではないと感じる「陰口」というような「悪口」ですが、実は相手への憎しみともいえる「瞋恚」からつながっているのかかもしれません。このように、十惡の一つが別の十惡へつながっていき、その結果多くの十惡の行いをしてしまっている可能性があります。

次の方では、十惡を避けるための教え「十善戒」について、お釈迦様のあるエピソードを交えてお話しします。

そんな大袈裟な：自分はそこまでやらない：。と思うかもしれません。しかし、SNSなど匿名性が高い世界では、偏見の目で見たり（邪見）、心無い言葉を浴びせたり（悪口）、偽りを装つたり（妄語）するようなことが数多く見受けられます。しかしそれらは、時として知らず知らずのうちに誰かを傷つけ、相手の受け取り次第では意図せず「殺生」へつながってしまうかもしれないのです。

悪を知り自分を律する日々を過ごせるようになると、人間関係においての無用な軋轢は生じず、お互いを認め合い助け合える関係を築くことができるでしょう。

因果の道理として説かれるように、原因があつて結果が生まれるのです。そして因果応報という言葉があるように、善いことも悪いこともいつか巡つて自分に反つてくるのです。自分やほかの人を苦しめ、窮地に追いやらないために「十善戒」を意識することから始めてみてはいかがでしょうか。

### 連鎖しやすい悪

十惡というものは、ただ一つだけというわけではなくつながっています。例えばお金が欲しいという「貪欲」が強くなると、最近よく耳にする特殊詐欺のように「偷盜」や「妄語」の悪へとつながってしまうのです。

お釈迦様は、十惡を知り自分を律して、悪を避ける努力をするために、先に紹介した十惡に「不」という否定の接頭語を付けて指針としました。例えば「殺生」は「不殺生」（命をいたずらに奪わない）といった具合です。それを「十善戒」として実践していました。

### 悪を知り自分を律する

私たちには、虫や植物を踏んでしまうなど意図せず「殺生」をしてしまうことがあります。それはお釈迦様にも言えることです。しかしお釈迦様は、虫が多く出る時期には寺院に籠り、極力外出しないで修行をするなどできる限り無益な殺生をしないように努めていたそうです。虫の生活を知り、命を尊重して、踏まぬよう用心がけるという姿は、優しく尊敬できるものです。

4月8日は、お釈迦様の誕生日

**おまつり**

**法要・甘茶かけ**  
ご生誕を祝う法要を営みます。  
子どもの姿のお釈迦様に甘茶を  
かけ焼香していただきます。

参加無料  
(甘茶のふるまいあり)

**花まつり祈祷**  
お釈迦様生誕の  
あらがいた日にあやかり、  
皆様のご多幸を祈祷し  
木札をお授けします。

祈祷料 500円  
(甘茶入りブレンドティー  
またはジュース付き)

**時間** 13:00~17:00  
**場所** 不動堂前

**Pick Up!**

**お土産屋**

手土産にぴったりな  
オリジナル商品を一部ご紹介。

**きなこクッキー**

**万松寺あられ**

**福あわせ(和三盆)**

# 万松寺日記

◆年末年始の法要・祈祷  
万松寺の行事の中でも、特に年末年始は多くの行事がありました。  
本年もたくさんの方々にご来寺いただきました。

## 除夜法会

■令和7年12月31日（水）



## 正月合同法要

■令和8年1月2日（金）  
3日（土）



## 初詣大般若会

■令和8年1月1日（木祝）  
2日（金）



## 初稲荷大祭

■令和8年1月6日（火）



## 初不動護摩大祭

■令和8年1月28日（水）

身代不動明王のご真前にて、不動明王の初縁日の護摩焚きを行いました。また、多くの皆さまに分身護摩札と叶御守の授与や特別護摩修行を行いました。



## 涅槃会

■令和8年2月15日（日）

お釈迦様が沙羅の木の下で亡くなられた日に、遺徳を慕い報恩感謝の法要を営みました。



■令和8年2月3日（火）  
あわせて不動堂で、星祭として、  
節分会を行いました。

本命星と当年星がより吉勢となる  
ように、除災招福の祈祷を行いま  
した。

## 節分会・星祭



# 災害物故者追悼法要 炊き出し訓練

令和8年3月8日(日)

万松寺では毎年3月に、災害物故者や被災動物の追悼供養と被災地の一刻も早い復興を祈念して法要を営みます。  
どなた様も予約なしでご参列いただけます。

■災害物故者追悼法要  
14:30～ 本堂

■炊き出し訓練  
15:00～ 境内



万松寺職員による、訓練を兼ねた「精進カレー」の炊き出しを行います。